

半田市中心市街地活性化情報誌<ハンズオン>

# HANDAS ON!

vol.  
3

2026 SPRING/TAKE FREE

発行 / 半田市 企画・編集 / コココリン(半田市創造・連携・実践センター)

思い描く景色へ。  
対話で、勇気で、変えていく。

玄関口の  
シンボル、  
クラシィ

広小路スクエアが  
建ったよ

もう少し奥には  
コココリン&  
おおまた公園

ミツカン  
本社ビルの  
奥には  
半田運河

どうなる?  
駅前広場

## どう変わる?どう変える? 知多半田駅周辺

まちと奏でる、わたしの物語  
おはなし処 水香亭 小栗 康義さん

場所・人・活動をつなぎ、  
新しい文化や産業をここから発く!  
スペースうんが  
—unga

写真で振り返る中心市街地の365日

セミナーレポート  
AIを活用して会議を活性化しよう

みんなのひろば  
中心市街地にある、私のお気に入り飲食店

# どう変わる？どう変える？知多半田駅周辺

半田市中心市街地の西の玄関口、知多半田駅周辺。名鉄知多半田駅とJR半田駅を結ぶ「泉線」を中心に、

クラシテイや昨年オープンしたココロリン、ビジネスホテルや飲食店などが立ち並びます。このエリアの、これまでとこれからを覗いてみました。

## 「広小路スクエア」は未来への楔くわぎになるか

ホテルが500床あるエリア  
飲食需要が必ずあるはずだ！

知多半田駅徒歩1分の場所に新しく建った、5階建てのグレーのビル。知多半島で不動産業を営むチタコーポレーションが建設し、テナント貸しをするものです。昨年11月末に完成し、取材した1月初旬は入居する飲食店を募集し始めたところでした。

「このエリアの不動産をずっと探していました。調べてみたら、知多半田駅周辺のホテルだけでも500床ほどある。それに対して夕食を食べる場所が足りない。ポテンシャルは高いと感じました」と代表取締役の三好修さん。建物の名称は「広小路スクエア」。半田市の中心地である広小路で商売をやりたいと挑戦する知多半島のお店が集まれば、面白い場所になると三好さんは考えています。「僕たちも1階で居酒屋をしようかなと考えています。サブスク型の無人居酒屋。新しい店がひとつできると、人の流れが変わってきますよ」



広小路スクエア

## 中途半端さを感じた 中心市街地の30年間

三好さんは豊田市出身。18歳で不動産業界へ就職し、21歳で半田店の店長になったのが、半田との縁の始まりでした。「山も川も温泉もあって暖かくて、ほどほどに便利でもあり。とても好きになって27歳の時に半田で事業を興しました。家族とともに半田に引っ越してもう30年ほどになります」

しかしその30年は、三好さんが度重なり半田というまちに「中途半端さ」を感じてきた時間でもあったと言います。「中心市街地を見て



三好 修(みよし・おさむ) 株式会社チタコーポレーション代表取締役。愛知県豊田市出身。1995年半田市で「チタコーポレーション」を創業。不動産仲介業務や住宅やマンションの建築など、知多半島の不動産にまつわる業務を幅広く行っている。

いても、あれだけ店が賑わっていたのに静かになってしまつて。商業地として充分活かされていない。もったいないなと思いますね」

「販売というものは、自由闊達に動けるようにしておけば自然に盛り上がっていくものと考えられる三好さん。「販売を抑制するような余計な規制を外して、こういうまちが創りたいんだ」という強いビジョンを堂々と見せてほしいですね。そこに惹かれれば、民間投資は動くものですよ」

## 「人と街を豊かに」を考え 不動産業としてできることを

知多半田駅周辺に、更地から今回のようなテナントビルが建つたのは何年ぶりでしょう。

「いわば目指す姿のために、はじめの楔(くさび)を打つたようなものです。「このビルから、賑わいを生みだしていきますよ。店が入れば、客が来る、人通りが増えれば、まちに活気が出てくる。次の挑戦者も出てくるんじゃないですか」

三好さんの挑戦は広小路スクエアにとどまらず、その近くにカプセルホテルの建設を構想中。灌上工業雁宿ホール向かいでは、24時間利用できるコワーキングスペース事業を始めました。「いろんなまちに視察に行きながら、知多半島での事業アイデアが浮かんでいきます。」

例えば、半田と常滑をトラム(路面電車)でつなげて、駅ごとに宅地開発をしたら面白いのではないかとか」

創業当初、チタコーポレーションのキャッチコピーは「人と人とのつなぎ役」でした。それが15年前から「人と街を豊かに」に変わりました。「このまちが大好きだから、そのためにできることはもともとずっと頑張りたい。今回のビルは、不動産業だからできる挑戦のひとつです。行政が動くのを待つてばかりはいられない。自分のできることで、少しずつやっていきます」



社屋の玄関にも示された「人と街を豊かに」

## 知多半田駅前広場リニューアル進行中!

### 市民ワークショップを重ね、居心地良い駅前広場を目指す

名鉄知多半田駅東では、駅とクラシティとの間にある駅前広場のリニューアルが進行中。2023年の市民ワークショップで描かれた「夢の未来図」で「情報が集まり、出会う場」と望まれたのをベースに、2024年に基本構想を作成、2025年からは設計段階に入っています。

設計においても市民ワークショップを重視。基本構想の背骨となった「みんなの日常的な居場所」+「いろいろな企画に使いやすい広場」を実現するために意見を出し合い、計画に反映させています。2025年度も、ワークショップやオープンハウス(検討案や模型を展示し、個別に意見収集するイベント)を通じて多くの人が自分ごととしてリニューアルを考えてきました。

### 変化は広場だけじゃない

それ以外でも、ココロイン(半田市創造・連携・実践センター)がオープンしたり、おおまた公園も少しずつ変化をしたりと、知多半田駅周辺は少しずつ変わっていています。これまで「通過する場所」だった空間が、「過ごしたい場所、活動できる場所」へと一歩ずつ前進中。あなたもぜひ、一緒に考えたり、何かに挑戦したりしてみませんか。



半田市ホームページ(知多半田駅前広場改修について)



リニューアルに向けた知多半田駅前広場の検討案  
※今後変更となる場合があります。



知多半田駅の駅前広場とおおまた公園を使って、キッチンカー出店を日常に!「POP UP PICNIC(通称ポバピ)」という名称で活動が行われています

# まちと奏でる、わたしの物語

〜半田市中心市街地のステキビト紹介〜

半田の歴史伝える場に  
過去から未来に  
思いを馳せる「水香亭」。

おはなし処 水香亭

小栗 康義さん  
(おぐり やすのり)



令和6年10月、郷里半田の歴史を気軽に語り合える場所としてオープンした水香亭(すいか)でい。場所は銀座本町の旧カガシヤ跡地です。「水香亭」という名前は明治23年に日本初の陸海軍連合大演習が半田で挙行された際、私の先祖が明治天皇にお水を献上するという名誉ある役目をいただいた事に由来しています」と語る小栗康義さんは、丸半運輸株式会社2代目の社長です。

きっかけは3年前。「築130年超の我家を解体していたところ、幕末以降の半田の歴史を物語る品々が数多く出てきたんです。それらを処分する事もできず、また私自身もものすごく興味を惹かれました」と語る小栗さんは、どこかに保存展示するだけではなく、自由に半田の歴史やこれからの未来を語れる場所をつくりたいと一念発起しました。



戦前に酒屋を営んでいた頃の  
名残の品も展示。

JR半田エリア

おはなし処 水香亭  
半田市銀座本町4丁目6-3  
090-3255-1462  
来店の際は必ず電話で確認下さい。



小栗時計の振り子時計



幕末の「ええじゃないか運動」と  
関わりが深い降り札の記録

と関わりが深い降り札などの貴重な遺産とも言える物が展示してあります。「展示品を見るだけでなく、そこで感じた思いを語り合える事が私の一番の楽しみです。繁栄を極めた半田の過去や未来、これからのまちづくりまで、老若男女が入り混じって語れる場所として皆さんに利用してもらいたいです」ありそうでなかった、市民が自由に半田をテーマに語れる場所。最後に小栗さんに大切にしている言葉を聞いてみました。「はんだブランドですね。自分も含め、半田に生まれ育った人々が歴史を正しく知ることから真のブランドは生まれると思うんです。水香亭がそのきっかけや架け橋になれば、私は本当に幸せです」。興味のある人はまずは水香亭を覗いてみて下さい。

知多半田エリア

## パンと珈琲

■日時/5月23日(土)10:00~16:00  
■場所/ココロリン・おおまた公園等

人気の「パンと珈琲」が5/23に開催/今回は出店数も増え内容もさらに充実。ココロリン周辺が歩行者天国になり、美味しい香りに包まれる開放的な空間が広がります。質・量ともに進化した「半田の日常の半歩先」を体験して。

■問合せ:パンと珈琲実行委員会  
TEL:0569-77-2363(ココロリン)



Instagram



半田運河エリア

## 半田運河の鯉のぼり

■日時/4月11日(土)~5月6日(水・祝)  
■場所/半田運河(源兵衛橋~船方橋)

春の運河を彩る鯉のぼりが登場/歴史ある街並みを背景に泳ぐ姿は圧巻です。ウォーキングに最適なこのエリアは、日中の爽快感はもちろん、夜間の幻想的なライトアップも見逃せません。心地よい春の風を感じて。

■問合せ:半田市観光協会 TEL:0569-32-3264



中心市街地のニユースヤ  
イベントはこちらをチェック!

# 場所・人・活動をつなぎ、 新しい文化や産業をここから発く！

半田市中心市街地の半田運河周辺。

このエリアのまちづくりの拠点として集約・推進しているのが

「—unga(スペースうんが)」です。その取組や想いを紹介します。

## 半田運河エリアの新拠点2024年4月に「出航」!

「—unga」があるのは、半田市中村町の国指定重要文化財小栗家住宅内。歴史あるこの場所では、周辺地域の醸造商品が販売されています。観光にとどまらず、中心市街地の活性化を担う場として、イベントを企画したり、市民ワークショップを実施したりしています。

「—unga」を運営しているのは半田市観光協会まちづくり事業部。観光事業で培って

きた、地域の魅力発信力やイベント企画力を活かしながら、周りの人たちを巻き込み、まちのプレイヤーを増やしています。例えば2025年12月には、3種のたまりラーメン食べ比べを実施。過去のイベント出店者が蔵元の協力を得て普段と違うたまりを使ったラーメンを提供。食・文化・人をつなげた新しいイベントとなりました。

### —ungaの「って?」

この形は運河の断面を表現  
このスペースは『空間』『余白』『関係』などの意味を持つ

スペースには何でも入れられ、可能性と発展性が広がります。それが何かは自在に変貌、まちづくりがここから出航。まだ眠っている価値がたくさんで、文化や景観が暮らしの日常であることが誇らしく思えるうちに!



地域の醤油やお酒を使い、実証実験を兼ねて行った食べ比べ



文化産業の“湊”半田運河で、人や活動をつなげています

## —ungaの3Keyword

### 1.【発酵】

醸造や発酵をテーマに販売や勉強会などを行っています。昨夏の「発酵ツーリズム東海」は、全国各地や世界から多くの人々が訪れ、まちづくりのヒントも得られたイベントでした。

### 2.【プレイヤーの発掘・育成】

半田運河周辺の歴史や文化に興味をもち、楽しく学んでくれる人を増やし、そうした人たちにこのエリアのファンになってもらえるように、タウンミーティングなどを開催しています。

### 3.【実証実験】

公共空間や未利用地の新しい使い方を実験的に試し、その周辺も含めてどう運営するかを考える実証実験を行っています。エリアの活性化や誘客につながる「運河酒場」、「運河床」なども実証実験のひとつ。ワークショップも実施しています。



運河酒場



運河床

## 半田運河は文化産業の湊です



—unga

鈴木 晶子 さん  
まちづくり事業部

半田市観光協会

半田市中心市街地の中でも「半田運河エリア」には歴史的な文化資源が多くあります。それらの特徴や魅力を広く伝え、強みを上手く活用することが「—unga」の大切な役割であり、今後の文化産業の「湊」になると私は考えています。

タウンミーティングなどを通じて、「このまちで挑戦したい」と集まってくる人「何か関わりたい」とファンになってくれる人がたくさんいることに気づきました。運河エリアとい



半田市中村町の国指定重要文化財小栗家住宅

うスペースを活かし、関わりを多彩に広げ、活動をつなげることで、ここにしかないまちづくりができるはずです。

日常の「当たり前」も、ほんの少し「まちづくり」という視点を持つだけで、ずいぶんと見方が変わって、まちの新しい魅力を発見できることがあります。魅力に気づいた人が挑戦できるまちになるよう、しっかりとサポートしていきたいです。

ホームページ



—unga

(スペースうんが)

半田市中村町1-10

10:00~16:00 年末年始休

問合せ / 0569-32-3264 (半田市観光協会)

2月



### 大学生&子ども ベンチづくり

知多半田エリア

大学生と子どもが協力してベンチを制作。自由な組み合わせで生まれた椅子が、拠点の交流を温かく彩ります。

3月



### 半田市公民連携 シンポジウム

全エリア

全国で活躍の公民連携専門家と「稼ぐまち」を議論。駅周辺の未来を考え、官民でまちを豊かにするヒントを共有しました。

5月



### おおまた公園人工芝 実証実験

知多半田エリア

みんなで敷いた人工芝が、今では多世代のお気に入り場所に。のんびり過ごす風景が定着しています。

6月



### ランブリングナイト

知多半田エリア

6～10月の第1金曜は駅前で「ちよい飲み」!キッチンカーを囲み、仕事帰りの笑顔が溢れた夜でした。

8月



### BON★BON ナイトウォーキング

JR半田エリア

クーポンを手に商店街を巡る新企画!食べ歩きやガラポンを楽しむ、夏の夜の街を賑やかに歩きました。

11月



### コココリン1周年

知多半田エリア

新拠点の1歳をお祝い!多彩な企画にみんなが集まり、地域がつながる「絆」がさらに深まる一日でした。

11月



### パンと珈琲 ウォーカブル実証実験

知多半田エリア

パンと珈琲を片手に、路上でほっと一息。心地よい空間のおかげで、街歩きがもっと楽しくなりました。

11月



### ランブリング・クラシティー イルミネーション

知多半田エリア

知多半田駅前で鮮やかな光に包まれ、点灯式は笑顔でいっぱい。まちと心を照らす冬の風物詩になりました。

12月



### 知多半田駅東 ロータリーワークショップ

知多半田エリア

駅前広場の設計案をみんなでブラッシュアップ!自分たちの視点で、より使いやすい未来を熱心に描き出しました。

通年



### おおまた公園朝市

知多半田エリア

毎月25日は朝市の日。地元旬な食材が集まり、朝の公園が地域の笑顔と会話で賑わっています。

通年



### ここパン ~今日はここがパン屋さん~

知多半田エリア

月1回、第2木曜日、商店街の軒先がパン屋さんに変身!いい香りに誘われて、いつもの道が幸せな空間になります。

通年



### POPUP PICNIC (知多半田駅前・おおまた公園7月~)

知多半田エリア

キッチンカーがまちに賑わいをプラス。駅前や公園でお昼ごはんやおやつを楽しむことが、日常の風景に。

生まれた一年でした。ベンチや人工芝、夜の灯りなどの実験を通じて、まちの新しい魅力に出会えたはず。

2026年もわくわくするような実験や取組をさらに広げていきます!みんなで居心地よくて歩きたくなるまちを一緒に盛り上げていきましょう。

## セミナーレポート

### AIを「対話のパートナー」に 未来の会議を体感



1月27日 クラシティ3Fホール  
主催：日本福祉大学スカラシップ 共催：コココリン

#### まちづくりセミナー 「AIを活用して会議を活性化しよう」を開催しました

#### 学生の「切実な問い」から始まった、 新しい産学連携の形

今回のセミナーが立ち上がった背景には、日本福祉大学の実践型プロジェクト「マチプロ」に取り組む学生たちの「等身大の気づき」がありました。地域活動の現場で「話し合いが思うように進まない」「納得感のある結論を出すのが難しい」という壁に直面した学生たち。その「もっと良い対話の場を作りたい」という切実な問いに応えるため、デジタルファシリテーションの第一人者である田原真人氏を講師に迎え、産学連携による最新の学びの場が実現しました。

セミナーの冒頭では「AIを難しい技術としてではなく、対話を楽しく、生産的にするためのヒントとして体感してほしい」というこの企画の意図が語られ、期待感に包まれる中でセミナーがスタートしました。



#### 心理的安全性を高め、 合意形成を加速させるAIの可能性

セミナーは、田原氏による最新のAI活用術のインプットと、多様な立場を超えたグループディスカッションを繰り返す形式で進行了ました。参加者は地域活動団体、教育関係者、行政職員など多岐にわたりましたが、AIを「心強い助手」として対話に介在させることで、会場には終始、活発な意見交換が生まれる「心理的安全性の高い場」が構築されていました。

アンケートやSNSでは、「AIが合意形成の助けになると感じた」「世界が広がる可能性を実感した」といった驚きや満足の声が多岐にわたりました。AIを単なる効率化の道具ではなく、対話の質を深めるパートナーとして捉え直す機会となったほか、企画の起点となった学生たちの熱意を称賛する反響も寄せられています。

学生たちの気づきが地域の大人たちの心に火を灯し、これからのまちづくりに向けた確かな一歩となったことを実感させる2時間となりました。

## 2025写真で振り返る中心市街地の

1月



#### 運河床の実証実験 (ベンチ)

半田運河エリア

全長24mの「運河床」ベンチが登場。材料を再利用し、カップホルダーも完備。水辺で憩う新習慣を提案しました。

2月



#### おとなり酒場

JR半田エリア

JR半田駅横に立ち飲み酒場が初登場。地酒を囲み、冬の駅前が温かな笑顔と活気に包まれました。

7月



#### 半田運河 発酵マルシェ

半田運河エリア

東海の地酒や発酵グルメが運河に集結！蔵人と触れ合い、醸造文化を五感で楽しむぜいたくな夏の夜になりました。

8月



#### おばけストリート

JR半田エリア

商店街が幽霊たちの遊び場に！大人も子どもも本気の仮装で参加して、夏の夜が最高に盛り上がりました。

11月

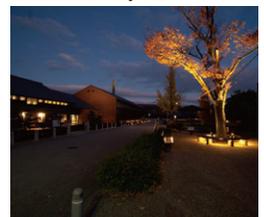


#### グレンコーの庭 絵本イベント

知多半田 JR半田エリア

大切な絵本を次の誰かへ。緑の庭での読み聞かせを通じ、世代を超えて心が通う優しい時間が流れました。

11月



#### 夜間景観にぎわい創出 実証実験

半田運河エリア

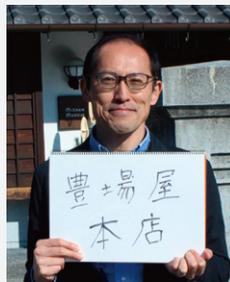
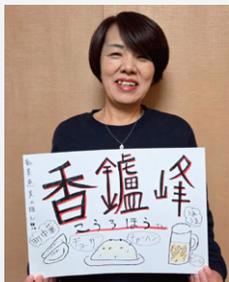
半田運河を幻想的に照らし、夜の居心地を検証。美しい灯りの中で、夜歩きを魅力を再発見する試みとなりました。

2025年は半田運河や知多半田駅前を舞台に、たくさんの「楽しい！」がそこで見つけた皆さんの笑顔は、これからのまちづくりの大きな力になります。

# みんなのひろば

## 今回のテーマ【中心市街地にある、私のお気に入り飲食店】

中心市街地って、美味しいものがいっぱいありますよね。それぞれの個性が際立つ飲食店、あなたはどこがお好き？  
まち行く人に、お気に入りのお店を書いてもらいました。



12人の皆さんが、見事にバラバラの店名。この地域の層の厚さを感じます。何店知っていましたか？食べたことありましたか？  
まだ行ったことのないお店には、ぜひ出かけてみてくださいね。(編集部)

### 中心市街地のまちネタ募集中!

ハズオンは、年2回発行の半田市中心市街地活性化情報誌です。半田市の中心市街地の「今!」を伝えるネタを常時募集しています。「こんな素敵ながいるよ」「こんなお店ができたよ」「こんな活動始めたよ」「これ詳しく知りたいな」など、ぜひお寄せください。

◎宛て先/[info@handanotane.com](mailto:info@handanotane.com)

※タイトルに「ハズオン情報提供」と入れて下さい。

※取材させていただく場合はあらかじめこちらからご連絡いたします。



◎発行 / 半田市

◎企画・編集 / ココロコ(半田市創造・連携・実践センター)

営業時間: 10時~19時 休館日: 火曜日、年末年始

〒475-0853 半田市南末広町120番地の4(おおまた公園北側) 名鉄知多半田駅より徒歩約3分・JR半田駅より徒歩約4分

◎事務局 / 一般社団法人はんだのたね

◎お問い合わせ / 半田市役所 市民経済部産業課 TEL.0569-84-0634 ココロコ TEL.0569-77-2363

はんだのたねは、指定管理者としてココロコの運営管理を行う、エアマネジメント会社です。

### 編集後記

vol.3では2025年を振り返ってみました。1年間でいろんなことがあったのを思い出しますね。日々の中では小さな変化も、積み重ねて振り返ると大きなものになっていたりします。知多半田駅周辺はまさに今、変化の真っ最中。「こうしたい!」を叶える機会でもあります。まずは小さな一歩から、あなたも何か踏み出してみませんか。(ココロコ / 田代)